
学校生活の楽しい過ごし方

猫山

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

学校生活の楽しい過ごし方

【Nコード】

N5693T

【作者名】

猫山

【あらすじ】

学園恋愛コメディです
どうぞよろしく。

注※この作品は作者の妄想によって書かれています。
過度な期待はしないでください。
それでは、始まり始まり。

プロローグ

——文化祭準備期間中。
いまから話すのはそのときの話だ。

「先輩、ここの部品どうしたらいいですか」

「あー、それはこっちに持ってきて。あとその男子達！さぼってないでさっさと働けっ！！」

その怒声で塊となって座っていた男子達が一斉に立ち上がる。
体中から不満げなオーラが立ち込めているのが見えるのは気のせいではないだろう。

「ちっ、マジだりいゝわ。……年上だからって調子に乗りやがって、くそチビ貧乳女が——」

先輩の所に荷物を持っていくついでに彼らの横を通ると、やっぱりそんな声が聞こえてきた。

（あゝあ、やっちゃったな……）

そつと心の中で手を合わせる。

しかし、なぜオレがこんなことをするのか……。

それは——。

「あんた達、ちょっと面貸しなさい」

いつのまにか、オレの現在位置から前方十メートル付近で、木の板に釘を打ちつけていたハズの先輩がオレの後ろに……いや、もっと細かく言うなら、彼らの中央——彼女に陰口を叩いていた男子に目の前に腕を組んで立っていた。

沈黙の時の中、驚愕の顔と憤怒の顔が正面で見詰め合う。

だが、それもほんの数秒の事だ。

そいつは、誰もが固唾を呑み足の小指さえ動くのを許されない、とさえ錯覚する状況下で

——ニコッ

と、普通に見れば十分可愛い部類に入るだろう表情で相手の男子に向けて微笑んだ。

だが、オレは知っている。

彼女のこの顔は本気で怒っている相手にだけ向けられる表情だということに……。

そして。

次の瞬間。

伸長差、およそ二十センチが嘘のように彼の体を投げ飛ばす。

さらに、「ふん。私はまだ絶賛発育中よ」と、地面で伸びている彼にそれだけ告げて、彼女は元の定位置へと戻っていく。

(……謝罪位はしていけよな)

心の中でそう毒づき、

「あー、なんだ……そのあれだ。オレの先輩が迷惑かけたわ」
変わりにオレが彼女に代わってそう謝罪を告げる。

すると、その言葉に反応した数人の男子がこっちに頭を向け、

「あ、あいつは何者だ？ 本当に人間なのか？」

あきらかに恐怖に染まった声色でオレにそう尋ねてきた。

「人間だよ——まあ、あの最悪なまでの凶暴性と耳が異常にいいという点を除けば、な」

「……………」

適当にはぐらかしたオレにまだ何か聞きたそうな顔をしていたが、そこは空気を読んだらしい。

「……そうか。では、すまなかった、と、それだけ彼女に伝えといてくれないか？」

代わりに謝罪の気持ちを告げ、数人の男子たちと共に保健室の方へ

と歩いていった。

「……」

そつと後ろへ振り返る。

そこにはさっきの出来事が無かったかのように、真剣な眼差しで釘を打ち込む先輩の姿があった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5693t/>

学校生活の楽しい過ごし方

2011年10月9日04時02分発行